

平成27年度

埋蔵文化財調査士補

資格試験 筆記問題答案用紙 (I 扱一式)

受験番号	氏名	I	II	III
B-				

試験日：平成27年8月22日(土)

東京会場：東京御茶ノ水「連合会館」

大阪会場：大阪「ホテル新大阪」

公益社団法人
 日本文化財保護協会

【 I 】 次の設問に対し、A～Dのうち一つだけ記号を選択して解答欄に記入しなさい。

問 1 埋蔵文化財調査士・調査士補の資格制度で、正しいものはどれか。

- A. 調査士は発掘調査から報告書作成まで一貫して責任をもって実施できる。
- B. 調査士補は経験の少ない作業員の指導のみできる。
- C. 調査士補はCPDポイント不足による未更新者であっても、実務経歴と必要条件を満たせば特例として調査士試験受験資格を与えられる。
- D. 調査士と調査士補は発掘経験年数の違いである。

問 1	A
-----	---

問 2 埋蔵文化財調査士補の役割について最も正しい理解は次のうちどれか。

- A. 発掘調査報告書が作成できる。
- B. 発掘調査を適切に進行させることができる。
- C. 発掘作業員しか指導できない。
- D. 埋蔵文化財調査士の補助的な仕事に従事できる。

問 2	B
-----	---

問 3 労働安全衛生法に関する記述のうち誤りはどれか。

- A. 労働安全衛生法は、職場における労働者の安全と健康を確保することを目的に掲げている。
- B. 労働安全衛生法は、強制法規であるので全ての条文に罰則の適用がある。
- C. 労働安全衛生法は、労働者の遵守事項に関する規定も定めている。
- D. 労働者の労働時間は労働者の安全と健康の確保と密接な関係があるが、労働安全衛生法には法定労働時間等の労働時間に関する規定されていない。

問 3	B
-----	---

問 4 事業場の安全衛生管理体制に関し労働安全衛生法令上正しいのはどれか。

- A. 常時30人以上の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、安全管理者を選任しなければならない。
- B. 常時100人以上の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場でなければ、衛生管理者の選任は必要ない。
- C. 常時75人の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、産業医を選任しなければならない。
- D. 常時5人の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、安全衛生推進者を選任しなければならない。

問 4	C
-----	---

問 5 掘削に関し労働安全衛生法令上誤りはどれか。

- A. 車両系建設機械の作業中は労働者に危険が生ずるおそれのある箇所への立ち入りを禁止しなければならない。ただし、誘導者を配置し、その者に当該車両系建設機械を誘導させるときはこの限りでない。
- B. 掘削面の勾配について、岩盤又はかたい粘土の地山の手掘り作業では、掘削面の高さ5m以上では75度以下としなければならない。
- C. 砂からなる地山の手掘り作業では、掘削面の勾配は35度以下としなければならない。
- D. 掘削面の高さが1.5mとなる地山の掘削の作業では地山の掘削作業主任者の選任が必要である。

問 5	D
-----	---

問 6 労働者を就業させる屋内作業場の衛生基準に関し労働安全衛生法令上誤りはどれか。

- A. 普通の作業を行う作業場の照度は原則として150ルクス以上でなければならない。
- B. 事業者は、労働者が有効に利用することができる休憩の設備を設けるように努めなければならない。
- C. 事業者は、負傷者の手当に必要な救急用具を備えなければならないが、事業場の近くに病院があるときは救急用具の備え付けが免除される。
- D. 労働者一人当たりの気積は10立方メートル以上である。

問 6	C
-----	---

問 7 文化財保護法第 93 条第 1 項の土木工事における発掘届は工事着手の何日前までに提出しなければならないか。

- A. 92 条の発掘届提出前まで
- B. 調査直前まで
- C. 40 日前
- D. 60 日前

問 7	D
-----	---

問 8 文化財保護法第 92 条第 1 項の発掘届は誰が誰に提出するか答えなさい。

- A. 調査担当者が都道府県教育委員会を経由して文化庁に提出
- B. 調査担当者が市町村教育委員会を経由して都道府県教育委員会に提出
- C. 調査主体者が市町村教育委員会を経由して文化庁に提出
- D. 調査主体者が市町村教育委員会を経由して都道府県教育委員会に提出

問 8	D
-----	---

問 9 文化財保護法第 92 条第 1 項の発掘届に添付する書類は、発掘予定地及び付近の地図、発掘担当者が発掘調査の主体者でない場合の発掘担当承諾書の他、何が必要か。

- A. 担当者の経歴書
- B. 調査計画書
- C. 発掘予定地の所有者の承諾書
- D. 工程表

問 9	C
-----	---

問 10 発掘調査を行う場合、調査担当者の心構えで最も適切なものはどれか。

- A. すべて担当者の判断で調査を行うことができる。
- B. 調査は結果としては遺跡を破壊することになるため、出来る限りその情報を記録することに努める。
- C. 調査は期間、予算を度外視しても、決められた手法で調査していかなければならない。
- D. 調査担当者として、調査における責任はすべて自分にあると思っで行う。

問 10	B
------	---

問 11 調査終了後、遺物の「発見届」を提出するが、届出先はどこか。

- A. 文化庁
- B. 所管の警察署
- C. 政令指定都市等の教育委員会
- D. 都道府県教育委員会

問 11	B
------	---

問 12 予想外の遺構・遺物量が出土した場合、その対策として、不適切と思われるものはどれか。

- A. 行政担当者、発注者と協議をしていく。
- B. 行政担当者と調査方法を検討する。
- C. 決められた期間、数量を消化したら、現場を撤収する。
- D. 会社へ報告をして、協議する。

問 12	C
------	---

問 13 大正 5 年、日本で最初の考古学講座を担当したのは誰か。

- A. 坪井正五郎
- B. 鳥居龍蔵
- C. 浜田耕作
- D. 松本彦七郎

問 13	C
------	---

問 1 4 大山柏の研究所で発行した雑誌はどれか。

- A. 上代文化 B. 考古学
C. 考古学雑誌 D. 史前学雑誌

問 14	D
------	---

問 1 5 「日本遠古の文化」の著者は誰か。

- A. 鳥居龍蔵 B. 浜田耕作
C. 山内清男 D. 中谷治宇二郎

問 15	C
------	---

問 1 6 最初に縄文時代集落跡の全体調査を進めた研究者は誰か。

- A. 松本彦七郎 B. 甲野勇
C. 八幡一郎 D. 宮坂英武

問 16	D
------	---

問 1 7 縄文土器の起源について大きな論争を生んだ遺跡はどこか。

- A. 夏島貝塚 B. 本ノ木遺跡
C. 神子柴遺跡 D. 立川遺跡

問 17	B
------	---

問 1 8 戦前において弥生時代の木製品を大量に出土した遺跡はどこか。

- A. 志村遺跡 B. 板付遺跡 C. 和泉遺跡 D. 唐古遺跡

問 18	D
------	---

問 1 9 三殿台遺跡等の弥生時代集落跡の全体調査を進めた学者は誰か。

- A. 杉原荘介 B. 小林行雄 C. 和島誠一 D. 末永雅雄

問 19	C
------	---

問 2 0 日本最北端と最南端にある前方後円墳はこの県にあるか次のうちから答えなさい。

- A. 青森県と宮崎県 B. 宮城県と熊本県
C. 岩手県と鹿児島県 D. 秋田県と長崎県

問 20	C
------	---

問 2 1 日本の前方後方墳で最大なものは次のうちどれか。

- A. 奈良県新山古墳 B. 奈良県下池山古墳
C. 奈良県西山古墳 D. 群馬県八幡山古墳

問 21	C
------	---

- 問 2 2 日本で最も大きな円墳の規模はおよそどのくらいか次の内から答えなさい。
A. 直径 180m B. 直径 120m C. 直径 90m D. 直径 100m

問 22	D
------	---

- 問 2 3 高橋健自が行なった研究で現在も参考とされるものは次のうちどれか。
A. 三角縁神獣鏡の研究 B. 石製模造品の研究
C. 埴輪の研究 D. 祝部土器（須恵器）の研究

問 23	B
------	---

- 問 2 4 昭和 31 年（1956）飛鳥寺の調査を担当した機関は次のどれか。
A. 奈良国立文化財研究所 B. 文化財保護委員会
C. 橿原考古学研究所 D. 明日香村教育委員会

問 24	A
------	---

- 問 2 5 飛鳥水落遺跡から発見された漏刻とは次のうちどれか。
A. 天文台 B. 日時計 C. 水時計 D. 迎賓館の調理場

問 25	C
------	---

- 問 2 6 文化庁通知に示される発掘調査対象について、正しいのはどれか。
A. 中世までの遺跡は原則として発掘調査の対象となる。
B. 近現代の遺跡はまったく発掘調査の対象とならない。
C. 近世に属する遺跡は原則として発掘調査の対象となる。
D. 発掘調査の対象となるのは、古代の遺跡までである。

問 26	A
------	---

- 問 2 7 次のうち正しいものはどれか。
A. 中世・近世遺跡の発掘調査結果は、文献に書かれた記録と一致しない場合もある。
B. 文書に書かれていることがらは、発掘調査結果に優先する。
C. 発掘調査を行う上で、絵図面等は先入観を助長することになるので、参照するべきではない。
D. 文字資料が多く残っている中世・近世では、考古学は補助学として位置づけられる。

問 27	A
------	---

- 問 2 8 山城について、次のうち正しいものはどれか。
A. 山城は地表から遺構が観察できるので、発掘調査を行わなくても明らかにできる。
B. 山城は、発掘調査によってはじめて時空間的な理解が可能となる。
C. 中世の西国では朝鮮式山城が築かれた。
D. 土塁や空堀は山城にのみ特有の防御施設である。

問 28	B
------	---

- 問 2 9 草戸千軒町遺跡について正しいものはどれか。
A. 草戸千軒町遺跡は、発掘調査が終了し、現在史跡として整備されている。
B. 草戸千軒町遺跡は織田信長の焼打ちにあって焼失した朝倉氏の城下町である。
C. 草戸千軒町遺跡は芦田川河口付近に開けた近世の城下町遺跡である。
D. 草戸千軒町遺跡は芦田川河口付近に開けた中世集落遺跡である。

問 29	D
------	---

問 3 0 近世都市遺跡発掘調査の端緒となった遺跡は、次のうちどれか。

- A. 都立一橋高校遺跡
- B. 汐留遺跡
- C. 森の宮遺跡
- D. 纏向遺跡

問 30	A
------	---

問 3 1 次のうち正しいものはどれか。

- A. 国内の磁器生産は、中世では瀬戸・美濃地方でのみ行われた。
- B. 江戸時代は鎖国政策をとっていたので、海外からの輸入陶磁器は出土しない。
- C. 肥前磁器は、17 世紀後半～18 世紀前半頃、海外に盛んに輸出された。
- D. 有田天狗谷窯跡は、織部様式の陶器を大量に生産した窯跡として知られる。

問 31	C
------	---

問 3 2 次のうち正しいものはどれか。

- A. 煉瓦は日本の陶磁器生産の系譜を引いて焼成されるようになった。
- B. 汽車土瓶は鉄道開通後に普及したもので、近世にはなかった。
- C. 近年の発掘調査に触発されて、日本に産業考古学が起こった。
- D. 近代の戦跡遺跡は記録が豊富であるから、発掘調査による成果は見込めない。

問 32	B
------	---

問 3 3 JPEG に関して正しい記述はどれか。

- A. 階調画像の圧縮には JPEG が向いている。
- B. JPEG の階調は 16bit まで対応する。
- C. JPEG は RGB 画像の圧縮フォーマットである。
- D. JPEG はウェーブレット変換を用いている。

問 33	A
------	---

問 3 4 圧縮に関する記述で、間違っているものを一つ選べ。

- A. J P E G の圧縮率は可変である。
- B. J P E G は低圧縮ならば印刷にも適している。
- C. T I F F の L Z W 圧縮率は可変である。
- D. T I F F の L Z W 圧縮は画質が劣化しない。

問 34	C
------	---

問 3 5 CMYK の CMY とは何か。

- A. クロマ、マンセル、輝度
- B. 彩度、明度、色相
- C. シアン、マゼンタ、イエロー
- D. 緑色、赤色、黄色

問 35	C
------	---

問 3 6 最も色域の広いカラースペースはどれか。

- A. AppleRGB
- B. sRGB
- C. CMYK
- D. AdobeRGB

問 36	D
------	---

問 3 7 分布調査が必要と考えられる理由のうち、正しくないのはどれか。

- A. 土地取得の際の評価として使用するため。
- B. 開発事業予定地での開発側の問い合わせに対する迅速な回答として。
- C. 遺跡を利用した学習教育の教材として。
- D. 観光地の位置情報の一環として。

問 37	A
------	---

問 3 8 遺跡として認定できないのはどれか。

- A. 分布調査によって遺物を採集した。
- B. 確認調査によって遺物・遺構を検出した。
- C. 分布調査で遺物は採集できなかったが、昔採集したことがあるとっている。
- D. 発掘調査によって遺物・遺構を検出した。

問 38	C
------	---

問 3 9 分布調査では解明できないことは何か。

- A. 遺跡の立地環境
- B. 遺跡の年代
- C. 広域地域における同一時期の広がり
- D. 古墳の被葬者や居館跡を造り上げた豪族名

問 39	D
------	---

問 4 0 遺跡地図情報システムの今後の問題点を挙げたうち、正しくないのはどれか。

- A. 遺跡地図の改定時期と定期的なシステムのメンテナンスが必要
- B. 遺跡地図情報システムは遺跡を扱うものであるから、文化財サイドだけに周知させればよい
- C. 消滅した遺跡は遺跡であっても周辺地域に広がっている可能性があるため表示する必要がある
- D. 過去の発掘調査歴も必要な情報であるため、調査地点の表示を行う

問 40	B
------	---

問 4 1 民間会社が分布調査で行うことのできない仕事はどれか。

- A. 分布調査の調査員の派遣
- B. 分布調査で発見された遺跡の公式認定
- C. 分布調査の結果を基にした遺跡地図情報システムの構築
- D. 遺跡情報システムのウェブ版の構築

問 41	B
------	---

問 4 2 木材で、分類が困難でないものはどれか。

- A. 一年未満の枝
- B. つる植物
- C. タケ・ササ類
- D. ナラ・カシ類

問 42	D
------	---

問 4 3 分析試料が現在の炭素に少量(1%) 汚染された場合、どのような値になるか。

- A. 本来の値より時代が新しくなり、試料の時代が古いほど差が小さくなる。
- B. 本来の値より時代が新しくなるが、その差は試料の時代に関係ない。
- C. 本来の値より時代が新しくなり、試料の時代が古いほど顕著になる。
- D. 核実験の影響による ^{14}C の増加のため、少量の汚染でも未来の年代値が出る。

問 43	C
------	---

問 4 4 木材が枯死した年代値を求めるのに 1 点だけ測定する場合適した試料はどれか。

- A. 木材の中心部を使用する。
- B. 樹皮を使用する。
- C. いずれの部分を用いても変わらない。
- D. 樹皮を取り除き、一番外側の年輪部分を用いる。

問 44	D
------	---

問 4 5 ウィグルマッピング法について、正しく述べている文章はどれか。

- A. 樹皮が付いていなくても、伐採年代を高精度で求められる。
- B. 50 年輪以上あれば、樹皮が付いていなくても、伐採年代を高精度で求められる。
- C. 樹皮付きで多くの年輪が認められる材幹であれば、伐採年代を高精度で求められる。
- D. 年輪が詰まっている針葉樹材であれば、樹皮が付いていなくても、伐採年代を高精度で求められる。

問 45	C
------	---

問 4 6 鉄が錆びる時の説明として正しくないものを一つ選べ。

- A. 鉄錆の進行に塩化物イオンや硫酸イオンの存在は悪影響を及ぼす。
- B. 鉄が錆びる時体積と重量は増す。
- C. 鉄のサビには赤サビ以外にもいくつかの種類がある。
- D. 鉄が錆びる時に遺物が破壊されるのは体積が減るからである。

問 46	D
------	---

問 4 7 発掘現場での土層剥ぎ取り作業の注意点として正しくないものを一つ選べ。

- A. 深掘りした現場で剥ぎ取る時は崩落や酸欠事故への注意が必要である。
- B. 剥ぎ取った土層の土は落とさないようにそのまま乾燥させて保管・展示する。
- C. 剥ぎ取った土層は左右反転しているので報告書などの写真と異なる。
- D. 接着剤が硬化したら剥ぎ取った土層を水洗して不必要な土を除く。

問 47	B
------	---

問 4 8 発泡硬質ウレタン樹脂による遺物の固定→取り上げについての説明として正しくないものを一つ選べ。

- A. 発泡硬質ウレタン樹脂は硬化すると重量が急激に増すので注意する。
- B. 硬化した発泡硬質ウレタン樹脂の切断にはノコギリが有効である。
- C. 高温の時期には反応が進むので小分けにして薬剤を調製する。
- D. 発泡硬質ウレタン樹脂は硬化時に発熱するので火傷に注意する。

問 48	A
------	---

問 49 漆製品の説明として正しくないものを一つ選べ。

- A. 漆製品は化学的には相当タフだが紫外線には弱いので直射日光を避ける。
- B. 木胎が消失して漆膜だけになってしまっても分析試料としての価値はある。
- C. 漆椀から遊離した漆膜は水から引き揚げて乾燥保管するのが良い。
- D. 漆は鉄、皮革、植物性編物などにも塗られることがある。

問 49	C
------	---

問 50 出土遺物の理化学的分析についての説明として正しくないものを一つ選べ。

- A. 各種の汚染が分析結果に悪影響を及ぼすので試料採取は慎重に行なう。
- B. AMS¹⁴C 年代測定法で石油製品の汚染があった場合、現代に近い年代値が出る。
- C. 出土人骨から DNA 分析をする場合ヒトによる汚染に注意が必要である。
- D. 銅合金製品のサビを測って合金組成を定量的に求めることは困難である。

問 50	B
------	---